

第78回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】土地の境界について

周辺住民から嫌がらせを受け、困っている。家の外周に塀を立てようとしたが、現地測量をした結果、土地の境界杭の位置に納得できない。書類が改ざんされていると思われる。役場職員からは書類が無いなどと言われ、その他、対応も不誠実で信用することができない。

⇒【村長コメント】

周辺住民から受ける権利侵害の問題については、裁判で解決していただくしかない。また、これまで役場が関わった内容については、確認した上で回答させていただく。

⇒【農業政策課・都市整備課・総務課コメント】

土地境界について、国土調査にて登記されたもの、その後権利者が土地家屋調査士に依頼し、地積測量図を作成し分筆されたもの、どちらも法務局に登記され法手続きが完了している現状があります。

国土調査は精度の低い旧公図を現況に合うよう整理し、権利者の閲覧など、法手続きを経て登記されます。これによって新たな土地が生まれたり、消したりするものではありません。また、東海村が保管する資料の中で、提出を求められたものについては全てお渡ししております。

地積測量図については法務局が管理していることから、水戸地方法務局や地積測量図を作成した家屋調査士に確認して頂ければと思います。どうしても土地境界に納得できないのであれば、水戸地方法務局が窓口となっている「筆界特定制度」を活用することによって、公的な判断として筆界を明らかにできます。

なお、周辺住民から受ける権利侵害の問題については、東海村社会福祉協議会において弁護士相談等を利用して頂ければと思います。

【2】幼稚園再編整備計画について

- ① 「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方」に対する意見募集があったが、その回答はいつ出されるのか。
- ② 水戸外環状道路が平面交差になったのは決定事項か。
- ③ 送迎時の道路の渋滞は、幼稚園選びに影響する。舟石川保育所を廃止にするのならば、現在東海病院周辺で整地が進んでいる「絆」周辺の通いやすい場所に新たに保育所を建てるのはどうか。
- ④ 中央公民館の跡地を歴史と未来の交流館の駐車場にするとのことだが、もっと有効に使えないのか。
- ⑤ 2020年11月に発行された「子育て・防災マップ」について、幼稚園再編のことが記載されていないのはなぜか。
- ⑥ 小学校で配備されるタブレットは、一人に一台支給され、持ち帰りできるようになるのか。

⇒【村長コメント】

- ① いただいた意見についてはきちんと受け止め、今後は、意見交換会を複数回に分けて実施したいと考えている。
- ② 近日中に、水戸外環状道路について常陸大宮土木事務所から事業概要の説明を受けることになっている。土木事務所には渋滞の恐れなどについて意見するつもりである。
- ③ 東海病院周辺の土地は、基本的に個人の換地であり整地が完了するのを待って、地権者がそれぞれ土地利用について既に計画していると考える。
- ④ もともと文化センターの駐車場が足りない状況であり、今後は交流館等の周辺公共施設を含む文教エリアの共用駐車場として活用していく。
- ⑤ 最近では村が情報を提供して民間が発行している出版物が増えており、今回指摘のあった冊子も村が提供した情報をもとに民間（ゼンリン）が発行しているものである。しかし、最新の情報が掲載されていなかったことに関しては、役場の配慮も足りなかったのかもしれない。
- ⑥ 現在、GIGA スクール構想に向けて村内の小・中学生全員にタブレットを整備しているところである。今後は自宅学習においても活用することになると思うが、学校側の管理体制や各家庭のWi-Fi環境など、状況を見極めながら検討していきたい。

【3】村職員の社会人中途採用について

役場の一般事務職の社会人中途採用は実施しないのか。

⇒【村長コメント】

一般事務職については、毎年、退職者の数や職員全体のバランスを見極めながら、4月の採用で、新卒に限定せず30歳を上限として一定の人数を募集しており、令和3年度も一般事務職を含め10名程度の採用を予定している。精神保健福祉士などの専門職については、随時募集している。ご意見として伺う。

【4】新型コロナウイルスと災害について

- ① 災害が起きたとき、避難先でのコロナ対策はどうなっているか。
- ② 新型コロナウイルスのワクチン接種は強制的なものなのか。
- ③ 村内の感染者数は何名で、どの病院に入院しているのか。病院に対する差別はあってはならない。

⇒【村長コメント】

- ① 密にならないように避難所はできるだけ人が分散できるようなかたちで開設し、さらに段ボールで仕切れるようにする。
- ② ワクチン接種については本人が承諾した上で行うものであり、強制的なものではないが、ワクチン接種に関する情報は、住民のみなさんへ提供していく。村では、住民自らが医療機関に直接予約をして接種するかたちをとる。接種のスケジュールは遅れており、65歳以上も6～7月になるかもしれない。接種にかかる費用は無料であり、接種する際は村が発行する接種券が必要になる。
- ③ 現在、村内で感染した人は62名となっている。症状により、茨城東病院等に入院する方と、自宅療養する方がいる。医療従事者には頭が下がる思いであり、おっしゃる通り非難はあってはならず、役場でも呼びかけていく。

【5】シニアソフトボール全国大会出場について

JCO 事故の年に、65歳以上の村内ソフトボールチームの「ヤングパワーズ」が関東大会で優勝し、全国大会に出場することになったが、JCO 事故が起き、急きょ試合をせずに帰ることになった。歴史と未来の交流館で、当時の写真やユニフォームを展示してもらえないか。

⇒【村長コメント】

すぐにできるとは言えないが、ソフトボール連盟などの関係者に確認する。ご意見として伺う。

⇒【生涯学習課コメント】

村内ソフトボールチーム「ヤングパワーズ」の写真パネル、ユニフォームが現在も保存されていることを確認いたしました。

歴史と未来の交流館は、歴史や自然の展示、青少年育成などの様々な活動を行う場所であり、7月24日（土）の開館に向けて、村の歴史や文化財などについて、「観る、触れる、学ぶ、好奇心をはぐくむ」ための展示の準備を進めているところでございます。

スポーツ分野につきましても、東海村スポーツ推進計画において「スポーツを通して人がつながり、まちが元気になる」を基本理念に掲げており、全国大会に出場する村内の団体も毎年多数輩出しておりますので、歴史と未来の交流館を含め、社会教育施設への物品展示によるスポーツの推進及び機運醸成を図るためのアイデアの一つとして、お受けいたします。

【6】東海病院の外来について

東海病院の外来について、以前から要望しているが、内科医の先生を増やしてもらいたい。また、那珂市の慶和病院のように、新館（診察）、旧館（治療・介護）と分け、医療を充実させてほしい。

⇒【村長コメント】

東海病院は現在赤字運営で、村からの補てんで黒字にしている状態であり、国からの指導も受けている中、これ以上病床数を増やすことは難しい。ご意見として伺う。

【7】東京オリンピックの聖火ランナーとして使用したトーチについて

東京オリンピックの聖火ランナーとして、日立市を走る予定となっている。走り終わった後に、使用したトーチをいただく予定であり、そのトーチを子どもたちが見たり触ったりする機会に活用してもらいたいと考えている。

⇒【村長コメント】

東海村はコースになっていなかったため、村民の方が走るということを知った。是非、村の広報誌でも取材をさせていただき、子どもたちにトーチに触れてもらう機会についても設けさせていただきたい。

⇒【秘書広報課コメント】

東京オリンピック聖火リレーへの参加おめでとうございます。貴重な機会ですので、ぜひ取材

させていただき，村民の皆さんへ広く周知していければと考えております。